

令和6年3月4日

すべての職員の皆さんへ

前橋市長 小川 晶

令和6年度当初予算編成方針

「前橋に、笑顔を。」という合言葉のもと、一人ひとりの市民に寄り添い、みんなが輝ける新しい前橋をつくるため、次のとおり令和6年度の当初予算を編成し、すべての職員の皆さんと一緒に「5つの基本政策」の実現に向けて取り組みます。

<基本的な考え方>

○まずは「給食費の無償化」に向けた予算を確保します

こどもや子育て世代、高齢者、障害者や介護世代、地元で働く人たち、あらゆるマイノリティを含め、すべての前橋市民にとって、「追い風」となる市政をめざしています。

令和6年度は、まずは「給食費の無償化」を目指します。

このほか、ゲートキーパー講座などの人権教育の実施、障害者の賃金向上や障害者アートの推進、農林業の支援強化、分かりやすく便利なデジタル化など、取り組むべき課題として、具体的な検討を進めます。

○今までの取組の効果検証を行います

第七次前橋市総合計画に基づく各種施策を引き続き推進し、市民にとって、より良い方向へと進めるため、今までの取組の効果検証を行い、予算編成に反映していきます。

<5つの基本政策>

- 1 子育てと教育を最優先！こどもの未来が、輝く前橋へ。
- 2 安心して住み続けられる、誰もが暮らしやすい前橋へ。
- 3 経済の活性化と雇用の創出、働く人を支える前橋へ。
- 4 水と緑、歴史と文化、多様性が共生する、魅力あふれる前橋へ。
- 5 市役所改革と市民参加で、あたらしい前橋へ。

詳しい政策は、次ページ以降に示しますので、各部局の知恵を出し合い、できることから、実現に向けた予算を一緒に作り上げましょう。

1 子育てと教育を最優先！こどもの未来が、輝く前橋へ。

- ① こども基本条例の制定
～こどもの権利を守り、こどもの視点でまちづくりを。
- ② こどもと向き合う学校づくりに取り組み、先生の働き方も見直します。
- ③ こどもの居場所を、充実させます。（放課後こども教室の実施や、校内フリースクールの設置など。）
- ④ 学校給食の無償化を、目指します。
給食の質を向上させながら給食費の保護者負担を減らし、給食の地産地消も推進します。
- ⑤ 地域の農家と連携した学校ファームを実施し、食育や地域づくり、農業支援に繋がります。
- ⑥ ヤングケアラーやこどもの貧困対策を、充実・強化します。
- ⑦ 人権教育・平和教育など、こどもに必要な学びの機会を増やします。
～命の安全教育・包括的性教育・D E T 研修・ゲートキーパー講座・L G B T Q 研修の実施へ。
- ⑧ 保育料の負担軽減を、図ります。
- ⑨ 産後ケア事業や、一時保育・病児保育を充実させます。
- ⑩ 保育現場が抱える課題に、取り組みます。
～保育人材の確保対策・保育園の定員の柔軟な見直し・保育士の配置基準の見直しなど。

2 安心して住み続けられる、誰もが暮らしやすい前橋へ。

- ① 福祉・地域・ケアラー（ヤングケアラー含む）支援条例を制定し、介護や看護に関わる家族の負担を軽減します。
- ② 医療・介護・福祉現場の人材確保対策を強化し、福祉に携わる人たちの待遇を改善します。
- ③ 高齢者や障害者が、健やかに生活できる環境をつくりまします。縦割りをなくし、総合的な地域包括ケアシステムへと発展させます。（認知症カフェの拡充など。）
- ④ あいサポート運動（※）を推進し、ユニバーサルなまちづくりを進めます。
※障害のある人たちが、暮らしやすい共生社会の実現を目指す運動。
- ⑤ 障害者の工賃向上対策を、強化します。・障害者差別解消法に基づく、施策を推進します。
- ⑥ メンタルヘルス・自殺対策・引きこもり相談を、強化します。
- ⑦ 自治会をはじめとする、地域コミュニティへの支援を強化します。
- ⑧ 公営住宅にコミュニティビジネスを導入し、地域の福祉ネットワークを拡充します。
- ⑨ 公共交通の維持・拡充や、移動手段の確保対策をします。
- ⑩ 生活に困窮している人たちが、生活保護を利用しやすいように積極的な広報を行います。
- ⑪ 共生社会・障害の有無や人種・性別・性的指向など、あらゆる違いを肯定する共生社会を実現します。
- ⑫ 審議会等への女性・若者の参画を、推進します。
- ⑬ ジェンダー平等を、推進します。・女性やこどもに対する、あらゆる暴力の根絶と支援を強化します。
- ⑭ 防災・小学校区を単位とする、地域防災計画を策定します。
- ⑮ 浸水想定区域に対する、具体的な避難計画を策定します。
- ⑯ 消防団活動を生かした、防災力を強化します。
- ⑰ 防犯灯や、防犯カメラを整備します。
- ⑱ その他・デジタル化は、市民にわかりやすい形で進めます。
- ⑲ マイナンバーカードの利便性を高めるとともに、マイナンバーカードを取得していない市民にも、必要な行政サービスを提供できるようにします。
- ⑳ 済生会前橋病院を、地域医療の拠点病院として支援します。
- ㉑ 新清掃工場建設地の選定を、速やかに進めます。
- ㉒ 動物の殺処分ゼロを目指して、民間団体と連携した取り組みを強化します。
- ㉓ 公的施設における、W i - F i 環境を整備します。

3 経済の活性化と雇用の創出、働く人を支える前橋へ。

- ① 若者雇用・障害者雇用を、促進します。
～前橋市独自の奨学金制度・奨学金返還支援制度の創設など。
- ② 市内企業への優先発注を徹底し、地域経済を支える中小企業への支援を強化します。
- ③ まちなか既存店支援補助金を、市内全域に拡充します。
- ④ 農業・林業への支援を、強化します。（援農ボランティア制度の導入など。）
- ⑤ CSF・鳥インフルエンザなど、家畜伝染病に対する対策を強化します。
- ⑥ 地域農業のブランド化を、推進します。
- ⑦ 災害を受けた農業施設等への、償却資産税を減免します。

4 水と緑、歴史と文化、多様性が共生する、魅力あふれる前橋へ。

- ① 赤城山をはじめとする、自然を生かした環境教育を推進します。
- ② 富士見・大胡・荻窪の道の駅と、まえばし赤城の連携（農業と観光の連携）を強化します。
- ③ 大きなテーマである気候変動に対して、脱炭素社会へ向けた具体的な取り組みを進めます。（エネルギーの地産地消や、省エネ・再エネ推進など。）
- ④ 生ごみ・落ち葉などの、リサイクル（循環型農業）を推進します。
- ⑤ ユニバーサルデザインを導入し、人にやさしいまちづくりを推進します。
- ⑥ 歴史・文化・芸術を生かした、まちづくりと観光振興を推進します。
- ⑦ 市民芸術・障害者アートを、推進します。
- ⑧ プロスポーツ・地域スポーツを、支援します。
- ⑨ 障害者スポーツを、支援します。

5 市役所改革と市民参加で、あたらしい前橋へ。

- ① 市長の多選を禁止して、不祥事（談合事件）を生じさせず、利権・しがらみのないクリーンな市政へ。
- ② 市長の多選は「なれあい」と「慢心」に繋がるため、任期は3期までとします。
- ③ 前橋市全体の財産である職員が、市民のために力を発揮できる市役所へ。
- ④ 市役所の事業を総点検し、こどもや福祉に関する予算を優先させます。また、事業のスクラップを行い、職員が快適に仕事のできる環境を整えます。
- ⑤ DX化によるコアネットワークの導入で、作業負担が増加しているため、市役所のコアネットワークの見直しを行います。
- ⑥ 公の責任をしっかりと果たせる市役所に変えるため、委託事業や会計年度任用職員ではなく、必要な人員は正規の職員で確保します。（専門職員・技術職員の計画的な採用など。）
- ⑦ 市民参加のまちづくりを、推進します。広く市民の意見を聴くため、テーマごとにタウンミーティングや、こども議会・女性議会を実施します。
- ⑧ 申請書に記入せずに各種手続きができる「書かない窓口」を導入し、市民サービスの充実を図るとともに、職員の負担を軽減します。